

発行日	令和3年6月3日
発行元	災害対策課
所属長	課長 森本 仁信
電話	06-6489-6165

防災対策情報便



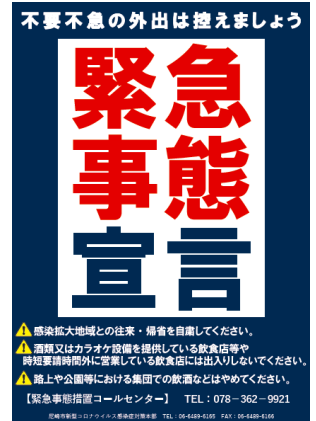
令和3年5月号

1 緊急事態宣言が再延長されました。

5月31日までとされていた緊急事態措置実施期間は、6月20日まで再び延長されました。

本市の感染者数は減少傾向であるものの、医療体制の厳しい状況は変わりません。

市民、事業者の皆さまには、厳しい状況が続きますが、引き続き、感染防止対策の取組に一層のご理解、ご協力をお願いします。



市民のみなさまへのお願い



- 大阪など**県境を越えた感染拡大地域との往来を自粛**してください。
特に**休日**は生活維持に必要な場合を除き**外出を自粛**してください。
- 酒類又はカラオケ設備を提供している飲食店等や、時短要請時間外に営業している飲食店等には、**絶対に出入りしない**でください。
- 飲食店等への**酒類の持ち込みは絶対にやめて**ください。
- コンビニ等から酒類を購入し、**店先や路上、公園などでの飲酒は絶対にやめて**ください。

＼マスクの着用／



＼こまめに手洗い／



＼検温、健康管理／



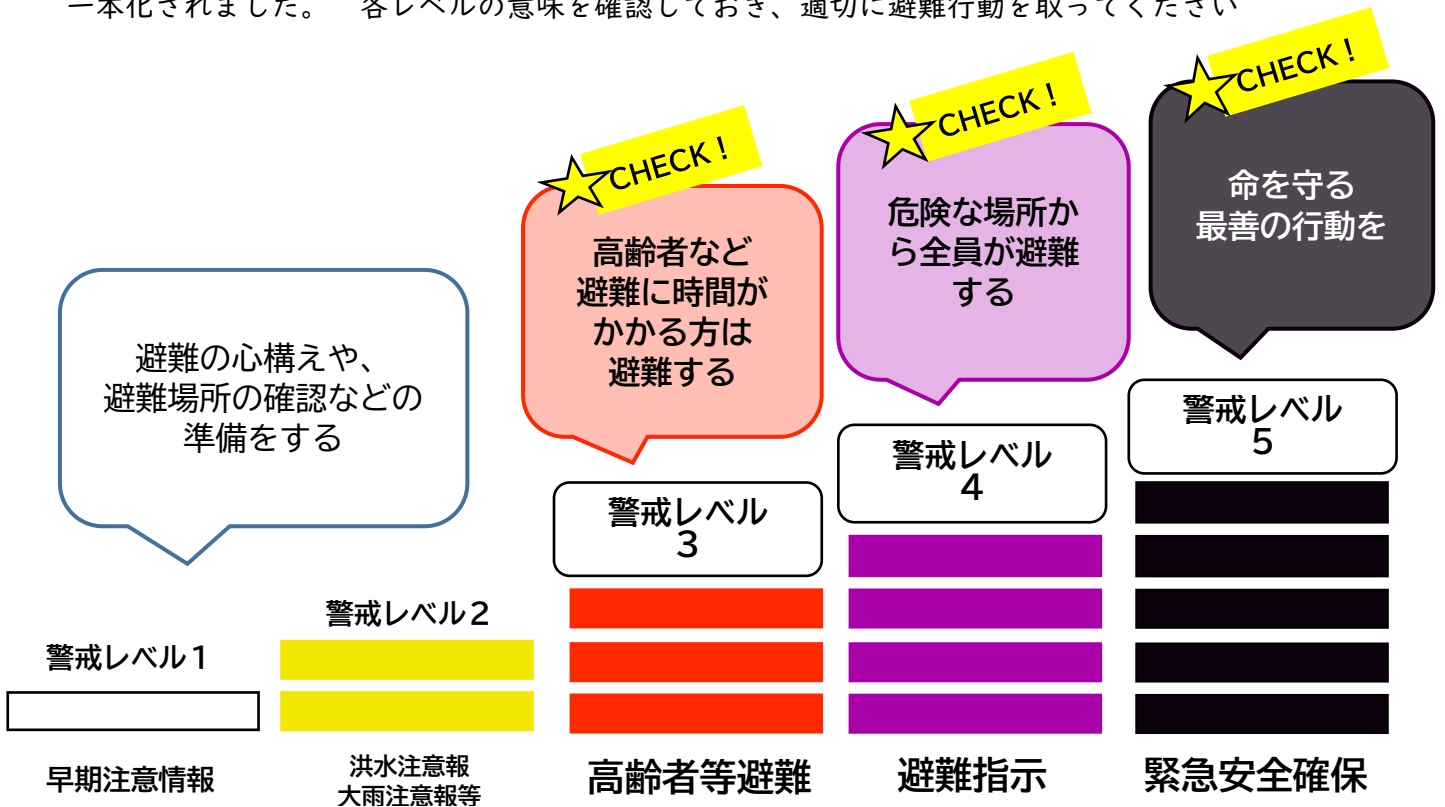


2 風水害に備えましょう

6月からは、特に大雨や台風が多くなる季節に入ります。この機会に、あらためてご自身の防災対策を見直し、災害に備えましょう。

避難情報にご注意ください

水害の危険性が高まったときには、避難情報などを下記の「警戒レベル」を使って段階的に発令します。災害対策基本法の改正に伴い、「警戒レベル4」の「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に一本化されました。各レベルの意味を確認しておき、適切に避難行動を取ってください



いろいろな「避難」があります

避難とは、「難」を「避」ける行動のことです。必ずしも、市の指定した避難場所に行くことだけが「避難する」ということではありません。ご自身の状況に応じた避難先を考えておきましょう。

たとえば、洪水などの災害が起こる前に、「どんなときに」「どんな行動をするか」を時系列でまとめるマイ・タイムラインを作成しておくことで、災害時に焦らず行動を取ることができます。

ホテルで滞在しよう

安全な親戚の家で過ごそう



安全な友達の家にお邪魔させてもらおう

話し合っておこう
避難の選択肢が複数あると安心です！

災害情報の取り方

テレビ



気象情報やデータ放送で市内の災害情報を確認できます。

尼崎市 HP、SNS



災害発生時には随時、市のホームページや LINE、ツイッター、フェイスブックで災害情報を発信します。

ラジオ



FM あまがさきでは、災害時には緊急放送に切り替わります。チャンネルを 82.0MHz に合わせてお聞きください。

災害情報電話サービス



お持ちの電話から、**0180-99-6007**にかけると、避難情報など、市からの 24 時間以内の最新の災害情報を音声で聞くことができます。
※電話料金は利用者の負担となります

登録しよう！尼崎市防災ネット

尼崎市防災ネットでは、避難情報や地震・台風・河川の洪水などの災害情報をプッシュ通知でお届けします！ぜひ、ご登録ください。

ご自身が避難行動を取るタイミングや避難先を設定できる「マイ避難カード」機能があります！

ステップ 1

下記 QR コードを読み取ってアプリをダウンロード



Android



iPhone

「Google Play」や「Apple Store」で

ひょうご防災

検索



ステップ 2

アプリを起動し 3 つの初期設定を

言語の選択 ▷ 「尼崎市」を選択 ▷ 今いる場所の設定



メールアドレスでも登録できます！



amagasaki@bousai.net

に空メールを送信してください。
返信メールが届きます。

返信メールの「利用規約」をご確認ください。

返信メールの「利用規約に同意して登録する」と書かれた URL を選択すると、登録が完了します。

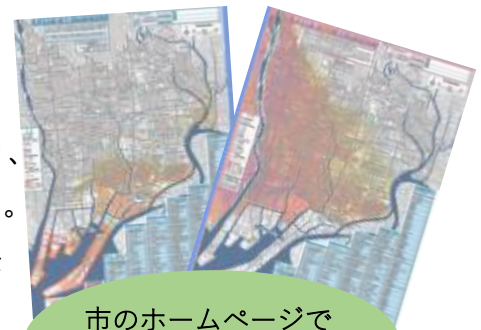


災害が来る前に、備えを進めておきましょう

ハザードマップを確認しましょう

ハザードマップとは、「津波」「洪水」「高潮」「内水」の4種類あり、避難場所や水害が起きたときに浸水する深さを色ごとに示しています。

ハザードマップで、災害のリスクや避難先を確認し、命を守る方法を考えておきましょう



市のホームページで
ご覧いただけます！

👉 ハザードマップの確認ポイント

住んでいる場所の浸水の
深さはどれくらい？

安全な避難先は
どこにある？

避難するときは
どんなルート？

ローリングストックのススメ

ローリングストックとは、普段から少し多めに食材や飲料水などを買っておき、使った分だけ新しく買い足すことにより、常に一定量を備蓄しておく方法です。被災後の避難生活のためにも、日常生活の中で食料を備蓄できるローリングストックを活用しましょう。



備蓄は1週間を乗り切れる量を目安に準備しましょう

おすすめの食材

- ・缶詰
- ・レトルト食品
- ・飲料水
- ・アルファ米
- ・ドリンクゼリー
- ・お菓子 など

＼ポイント！／

ローリングストックの食材は、普段の食事で食べて消費していくので長期保存食でなくても大丈夫です。

まずは、飲料水やお菓子などを1つ多めに買ってみることから始めましょう。

